

教育事務所だより

平成 27 年 6 月 10 日発行

ともにアクティブ・ラーニングを！

所長 奥村 忠孝

「愛媛県のある地方では、例年より 2 週間ほど早くホタルが飛び始めた」というニュースを耳にしました。今年は、例年よりも早く暑くなりそうです。

5 月下旬から管内の小中学校への訪問をしましたが、その際、元気な子どもたちの姿をたくさん見る事ができました。ゴミを処分する車の見学をし、環境学習をしている子どもたち、大きな声で運動会の組別応援練習をしている子どもたち、青空の下、緑の芝生の上を走り回ったり、キーパー役の若い先生と一緒にサッカーをしたりしている子どもたち。実に生き生きとした様子でした。そして、その子どもたちに共通しているのは、顔をあげて学校生活を送っている姿でした。以前、先輩教師から、「その学校のよさは、朝、校門をくぐる時の子どもの姿でわかる。よい学校の子どもたちは、顔をあげて校門をくぐる、もっとよい学校の子どもたちは、小走りをしながら校門をくぐる」と聞いたことがあります。自分の居場所がある、楽しいことがある、やりたいことがある学校であれば、顔をあげて入っていくでしょうし、早くやってみたいことがある、いっぱいやってみたいことがある学校であれば、小走りで走って入るでしょう。

その子たちのやりたいこととは何でしょうか。教育に携わるものとしては、その中にぜひ学習が入っていてほしいものです。

では、早くやってみたい学習、いっぱいやってみたい学習とは、どんな学習なのでしょう。たくさん要素が考えられますが、その一つに「能動的かどうか」という要素がありそうです。

一つの学習を終えた時の、指導者にとってうれしい子どもの感想に「ちょっとえらかったけど、おもしろかったがぁ」というのがあります。こ

の感想の裏には「自分で（が）やった」という感覚があり、それが成就感・充実感につながり、この感想として現れたと考えます。この「自分でやった感」は、まさに学習を能動的に行ったということでしょう。

昨年度の文科省の中教審への諮問に「アクティブ・ラーニング」という言葉が盛り込まれました。カタカナで表記されると、なにやら新しいことが入ってきたと思いがちですが、私たちは、今までも子どもたちが能動的・協働的に学習するスタイルを価値あるものとして求め続けてきています。また、多くの優れた実践もされてきています。それらの実践に学び、もう一度、能動的な学習のよさを確かめながら、その具現化に努めていくことになりそうです。

一方、私たち教員は子どもたちにアクティブ・ラーニングを求めながら、私たち自身が主体的・自主的な研修を求められていると考えます。県教委としても、教員による主体的な研修となることを願い、今年度から研修のあり方を変更し、各校あるいは個人のニーズに応じた研修となるように工夫しているところです。また、月・火曜日をセンターでの研修を実施しない日として設定し、校内の全員がそろって研修がしやすくしてもいます。

松江教育事務所でも、従来の学校訪問指導を見直し、各校のニーズに応じて、年間を通して複数回訪問し、学校の主体的な取組を継続的に支援していく継続型訪問指導を始めました。各校の自主性を尊重しながら、ともに研修を深めていきたいとの考えからです。換言すれば、各校でのみなさんのアクティブ・ラーニングを協働してやっていきたいということです。そのために松江市・安来市両教育委員会としっかりと連携し、各校の取組を支援していきたいと考えています。

平成27年度 松江教育事務所 所掌分掌（学校教育，社会教育関係）

§ 学校教育スタッフ（Tel 0852-32-5772）

職	氏 名	主な業務
指導主事 兼企画幹	遠山 茂樹	○学校教育スタッフの企画・調整，渉外に関すること。 ○学校経営概要，教育課程の編成・実施に関すること。 ○教員の長期研修(中央，内留，海外，研修員)に関すること。 ○国語科教育，特別活動，学校図書館活用教育に関すること。
指導主事	城市 則子	○特別支援教育に関すること。 ○就学指導に関すること。 ○特別支援学校との連携に関すること。 ○音楽科教育，図画工作科教育，美術科教育，技術・家庭科教育に関すること。
指導主事	竹崎 葉子	○学校訪問指導に関すること。 ○人権・同和教育に関すること。 ○社会科教育，総合的な学習の時間，キャリア教育，ふるさと教育に関すること。 ○高校入試・奨学金に関すること。
指導主事	常松 浩	○少人数などきめ細かな指導に関すること。 ○特色ある学校づくりを支援する 30 人学級編成及び小中学校少人数学級編成（小学校第 3 学年以上）に関すること。 ○教職経験者研修（6，11 年目）に関すること。 ○算数・数学科教育，体育・保健体育科教育，道德教育，福祉教育，消費者教育，金銭・金融教育，伝統や文化に関する教育に関すること。
指導主事	原 啓一郎	○国及び県の学力調査に関すること。 ○初任者研修に関すること。 ○教科用図書に関すること。 ○理科教育，生活科教育，環境教育，健康教育，食育，持続発展教育，へき地・複式教育，一貫・連携教育に関すること。
指導主事 兼生徒指導専任主事	津田 昌彦	○生徒指導に関すること。 ○しまねのふるまい推進事業に関すること。 ○外国語活動，外国語科教育，教育相談，安全教育，国際理解教育，帰国・外国人児童生徒教育，情報・メディア教育，著作権に関すること。 ○スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカーに関すること。

職	氏 名	主 務	主な業務
指導主事 (松江市派遣)	梅田 英樹	特別支援教育	○学校経営や校内体制及び教育課程の編成・実施・評価に関すること。 ○指導の工夫・改善・評価に関すること。 ○県教育委員会の指導方針等の周知に関すること。 ○就学指導及び進路指導に関すること。 ○県教育委員会と市教育委員会との連携に関すること。 ○学校における教育上の課題及び実態把握に関すること。 ○学校教育その他教育問題にかかわる情報提供に関すること。
	勝部 篤	生徒指導	
	道前 正	特別支援教育	
指導主事 (安来市派遣)	大谷 一郎	学力育成	○学校における教育上の課題及び実態把握に関すること。 ○学校教育その他教育問題にかかわる情報提供に関すること。
	多久和正人	特別支援教育	
	三保 貴資	生徒指導	

§ 社会教育スタッフ (Tel 0852-32-5775)

職	氏 名	主な業務
社会教育主事 兼企画幹	浜崎 順子	○社会教育スタッフの企画調整に関すること。 ○市教育委員会との連携、助言・指導に関すること。 ○学社連携・融合事業、ふるさと教育の推進に関すること。 ○青少年教育，成人教育，家庭教育及び社会教育関係団体に関すること。 ○社会人権・同和教育に関すること。 ○公民館，図書館等社会教育施設に関すること。 ○社会教育研修，研究調査に関すること。 ○社会教育主事及び社会教育職員に関すること。
社会教育主事 (松江市派遣)	岸 宏美	次の事項に重点を置きながら、派遣先の市において地域における社会教育及び「学社連携・融合」の推進に関する事務に専念する。 ○家庭・学校・地域が連携協力した社会教育事業の推進。 ○島根の地域の特性を生かしたふるさと教育の推進。 ○地域社会における人づくり・地域づくりの推進。
	川合 昌宏	
	名目良明利	
社会教育主事 (安来市派遣)	福本 修司	
人権・同和教育 指導員	山根 正巳	○同和地区児童生徒をはじめとする様々な支援を必要とする児童生徒に対する進路保障の取組に関すること。 ○教育事務所及び人権同和教育課が行う地域ぐるみの人権・同和教育の推進に関すること。 ○教育事務所管内における人権・同和教育に関わる業務の補助に関すること。

平成27年度 松江教育事務所管内 研究指定校等一覧

事業等	実施校等
しまねのふるまい体験活動推進事業	松江一中、松江二中
魅力ある学校づくり調査研究事業（発表会 12/4）	十神小、社日小、島田小、赤江小、安来一中
スーパー食育スクール事業	玉湯小（連携校；大谷小、玉湯中）
子どもの健康づくりサポート事業	八束学園
学校図書館活用教育研究事業	法吉小、意東小、東出雲中、十神小、社日小、母里小、広瀬中
課題解決型授業（アクティブ・ラーニング）推進事業	伯太中
小中学校の特別支援教育体制整備推進事業	忌部小、十神小
文部科学省指定人権教育研究指定校発表会（10/16） （兼 島根県人権・同和教育研究指定校）	広瀬小
島根県特別活動研究大会（11/27） （兼 中国地区小学校特別活動研究大会）	飯梨小、荒島小、赤江小、安来三中

「継続型訪問指導」について

実施校	中心となる教科等	実施校	中心となる教科等
古志原小学校	算数	南小学校	算数
恵曇小学校	算数	飯梨小学校	特別活動（学級活動）
来待小学校	理科	荒島小学校	特別活動（学級活動）
意東小学校	学校図書館活用教育（国語）	母里小学校	人権・同和教育（道徳・社会）
社日小学校	学校図書館活用教育（国語）	赤屋小学校	複式教育（算数）
島田小学校	外国語活動	安来第三中学校	特別活動（学級活動）

今年度、新規に実施する「継続型訪問指導」については、希望した学校及び各市教育局と協議の結果、上記の12校が実施校となりました。学校のニーズに応えられるよう、助言・指導に努めます。実施校の取組については、この「教育事務所だより」で紹介しようと考えています。また、実施校から各校へ公開授業等の案内があれば、積極的に参加いただきますようお願いいたします。

ご存じですか？『各教科等の指導の重点』

島根県教育委員会では毎年4月に「各教科等の指導の重点」を示しています。今年度は紫の表紙の冊子として各校に1部ずつ配布しています。年度のスタートにあたり、各教科等の年間指導計画の見直しにご活用ください。また、校内研究の授業づくりの際にもご一読いただくと、単元の目標の設定や指導計画の作成等に役立ちます。同時に、A3版1枚の「個人用～日々の授業改善のために～」も配布しています。こちらも毎日の授業づくりにご活用ください。